



みちねこの「図書館の扉をひらく」研修会



学校図書館のキホン

令和7年 長野県図書館協会/須坂市×セナホール
オフィスみちねこ 木下通子



新刊です！

木下通子です

学校司書として40年間勤務し、2025年3月に定年退職。現役の高校司書して勤務しながら「みちねこ」として本と人をつなげる活動を展開した実績を元に、社会教育士として2025年4月に「オフィスみちねこ」を起業しました。現在、埼玉大学・東洋大学・日本女子大学で非常勤講師として図書館学を教えています。

<https://www.michineko.com/>



社会教育士



埼玉県の図書館



知のナビゲーター

司書は、図書館のさまざまなサービスを通じて、子供からシニアまで、県民の生涯にわたる知的活動をサポートする仕事です。また、図書館の資料や世の中にあるふれる膨大な情報の中から、県民が必要とする資料や情報を的確に提供する『知のナビゲーター』としての仕事でもあります。

埼玉県では、約200人の司書が働いており、研修などを通じて専門職としてキャリアを積むことができます。

【県立図書館】

各種図書館資料の選定、収集、整理、カウンターでの資料に関する調査相談（レファレンス）、貸出などのサービスに従事します。また、市町村立図書館等への支援、子供の読書に関わる方への支援、図書館利用に障がいのある方や日本語を母語としない方への読書支援など、幅広く専門的なサービスを行います。

中でも調査相談業務は、お客様の要望をお聞きしながら的確な情報や資料を提供する、本や情報に関する知識、調査能力、コミュニケーション能力など、司書としての能力を発揮できるやりがいのある業務です。

【県立高校】

生徒一人ひとりを読書の喜びにいざなうことで、生徒の可能性をひらく仕事です。さまざまな生徒の特性を把握しながら、それぞれに合わせた図書を紹介したり、学校図書館のレイアウトを工夫したりします。また、学校の教育目標やカリキュラムに即した図書を提供し、教員の授業展開を支援します。各校1人の配置ですので、いちから学校図書館を運営することができ、生徒の成長に寄与するやりがいがあります。

学校図書館って
なんだろう



学校図書館法

1953年（昭和28年）8月8日に公布

学校の授業に役立
つ場所として

心と身体を育てる
場として

教育に欠くことができない施設である。法律ができて、70年！

学校図書館の活動を支える人

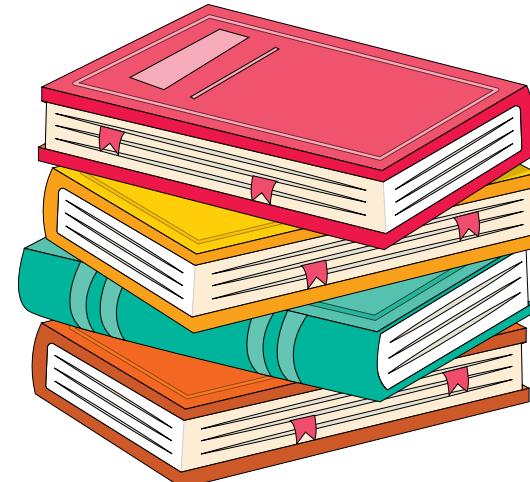
学校図書館ガイドラインより

図書館長＝校長先生

すべての教職員

司書教諭

学校司書



学校司書の仕事

学校図書館ガイドラインより

間接的支援

選書・受入・装備・蔵書点検など本に関わること。
予算管理・広報など、図書館の運営に関すること
館内整備、利用案内、掲示など図書館の整備

直接的支援

カウンター業務、図書館オリエンテーションなど、直接生徒と関わること。
レファレンスサービスなど資料相談。図書委員と協働して行う読書活動

教育活動への支援

教師への資料紹介。
授業の打ち合わせ。
授業への参加。データベースの利用方法や、情報検索についての講義。授業の成果物の保存・展示

学校図書館の目的

学校図書館ガイドラインより

読書センター

読書活動・読書指導を推進し
児童生徒の読む力や人間性を
涵養（かんよう）する機能

学習センター

資料・情報の活用授業を推進
し児童生徒の思考力・判断
力・表現力を育成する機能

情報センター

探究的な学びを推進し児童生
徒の情報活用能力を育成する
機能

子どもの読む力をつける



読めない子どものサポート

読書は運動と同じ
読むのが苦手な人には練習が必要

読めないと
探究学習ができません



読みたい心を育む 活動

- ・おはなし会
- ・ブックトーク
- ・パネルシアター

読む力を育む 活動

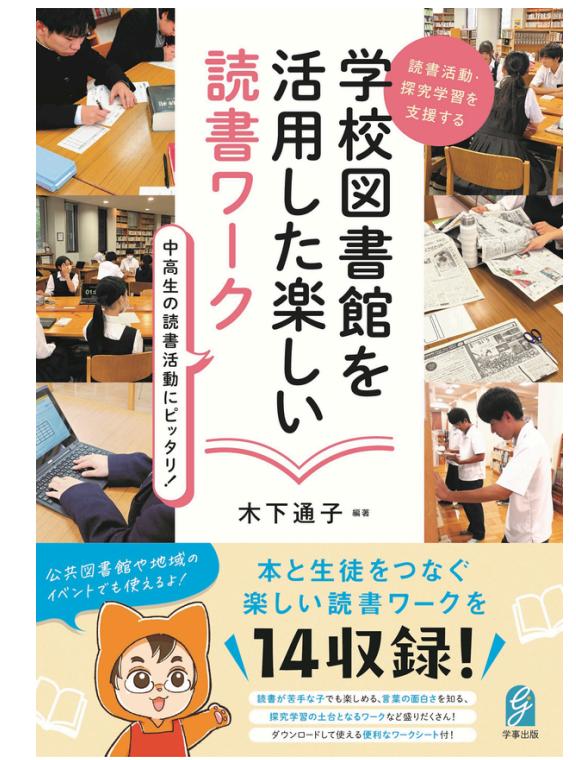
- ・アニメーション
- ・リテラチャーサークル
- ・読書会活動
- ・ビブリオバトル

探究活動で本を読むためには？

「点検読書」がおすすめです。

本を読む本

ルジアラー、CMジーラン
外山由紀子 編・著
著



探究学習と学校図書館





探究学習での学校図書館活用

小学校において、探究学習は「総合的な学習の時間」を中心としておこなわれます。小学校における総合的な学習の時間は、**小学校3～6学年を対象に、年間70時間**ずつ設定されています。

中学校では、小学校と同様に総合的な学習の時間が探究学習の中核となります。中学校の「総合的な学習の時間」は、**中学校1学年が年間50時間、中学校2学年と3学年が年間70時間**ずつ設定されています。

高校において、探究学習は「①総合的な探究の時間」と、「②各教科に属する科目」として「古典探究」や「理数探究」など六つの科目で実施されています。



浦和一女でやったこと

<ICTを活用した探究学習の支援—図書館活動>

彩の国教育の日

団体・学校の特徴	明治33年の開校以来、現在に至るまで120年にわたり、埼玉県女子教育のトップリーダーとして、国内外で活躍する4万人人余りの卒業生を輩出。教養に溢れ、人間性豊かな、品格ある女性の育成を目指し世界で、大きく羽ばたく、魅力的な女性を育てています。				
所在地(市町村名)	さいたま市	生徒数	1073名	活動期間	1年6か月
活動内容	新型コロナウイルス関連の臨時休業より、図書館では生徒の読書・学習活動を止めないために、電子書籍の導入を含め、図書館のICT化を推進しました。令和3年4月から学校のホームページに図書館のページを作成し、図書館の利用案内、図書館ブログ、蔵書検索、電子書籍のページにアクセスできるように整理。図書館の蔵書検索ページでは新着図書を掲載するだけでなく、授業の内容にあわせたブックリストをその都度UPし、生徒が活用しています。また、Googleクラスルームに図書館ルームを開設し、「情報検索の手引き」などの動画をUPし、生徒の探究活動を支援しています。令和4年4月からは、予約・督促の連絡もメールで行うようになり、図書館業務をペーパーレス化しました。				

特徴的な活動

図書館ホームページ

【1学年】
ペーパーレスが実現！

【2学年】

【浦和一女図書館の概要】

- ・年間増加冊数 約1,500冊
- ・令和3年度貸出冊数 44,498冊 (生徒一人当たり37.8冊)
- ・教職員貸出 2,183冊

【浦和一女図書館を活用した学びの体系】

- ・学校図書館の機能を理解する
 - ・一女図書館の活用方法と図書館のサービス内容について理解する。
 - ・図書の分類、配架のルールについて理解する。
- ・情報収集能力を身につける
 - ・メディアリテラシー教育

探究活動の支援内容

蔵書検索サイト

電子書籍

埼玉県立浦和第一女子高校図書館 Digital Library

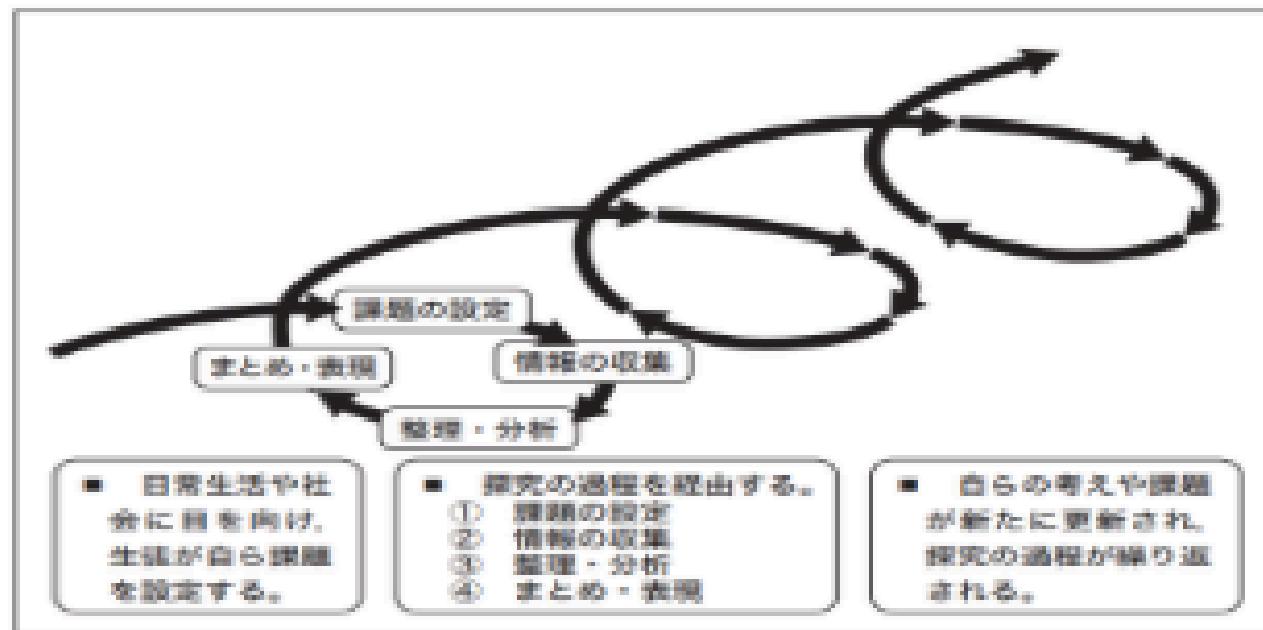


探究学習ってなあに？

【調べ学習の特徴】

- ・調べて整理して報告することが目的
- ・調べることに重点を置いている
- ・答えは迷いなく見つけられることが多い
- ・見つけた答えによって知識が増える

探究における生徒の学習の姿



【探究学習の特徴】

- ・自分の問題意識に関する答えを求めることが目的の学習
- ・探究のプロセスを大切にし、問い合わせを探究し続ける学習
- ・明確な答えが見つからないこともある
- ・知識が増えるだけでなく、新しい疑問が生まれ探究のサイクルが回る

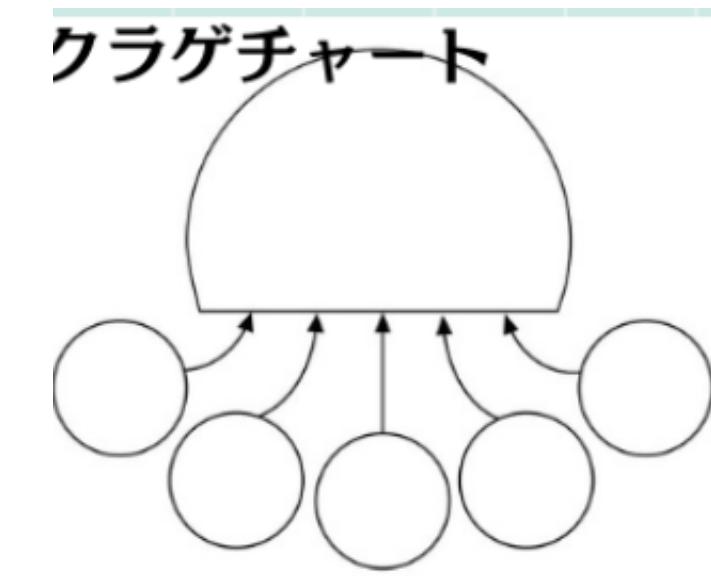
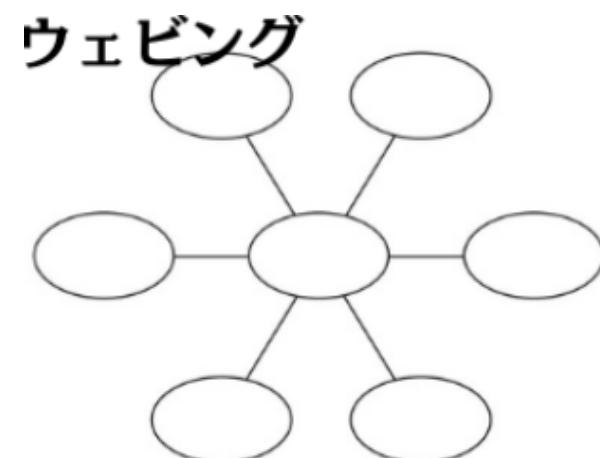
【探究活動は考えことによる学習】

- ・探究活動をすることで、思考力などの汎用能力が身につく。
- ・**調べ学習がきちんとできないと探究学習にならない。**



学校図書館がサポートできること

- ・本とインターネット資料の探し方
- ・データベースの活用方法や辞書や事典の使い方
- ・思考ツールなどを使って、資料のまとめ方、考えるきっかけを作る





学校図書館がサポートできること

- ・参考文献の書き方、資料の引用の仕方を学ぶ（情報のメモをつける）
- ・インターネット検索のコツを学ぶ/本とネット情報の違いを学ぶ
- ・インターネットで正確な情報を見極める力を持つ（「かちもない」）
 - か → 書いたのはだれか（専門家が書いているか）
 - ち → 違う資料と比べたか
 - も → 元ネタはなにか（根拠がある資料か）
 - な → なんのための情報化（広告じゃない？）
 - い → いつの情報か



情報の記録をつける習慣を

調べた本の情報、閲覧したインターネットサイトの情報を全部、記録しましょう。

一つの情報について、1枚のメモを作ります。

特にインターネット情報は、情報を見た日を必ずつけましょう

情報メモ		出席番号 _____	氏名 _____
調べたこと	_____		

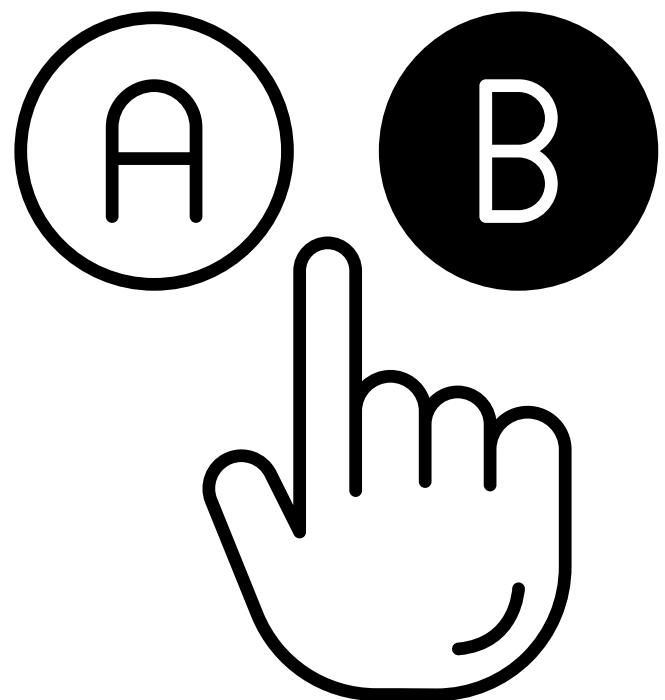
内容メモ	_____		

引用・要約	_____		

著者	著者名	_____	
	書名	_____	
文庫	出版社	_____	
	出版年	_____	
文献	インターネット	ウェブサイトの著者	_____
	情報の出典	ページタイトル	_____
		トップページのタイトル	_____
		URL http://	_____
情報を見た日			



人生は探究活動



進路を決める時
結婚/どこに住む?
子育て/保育園選び

人生の選択していく時に、図書館
が役に立つ

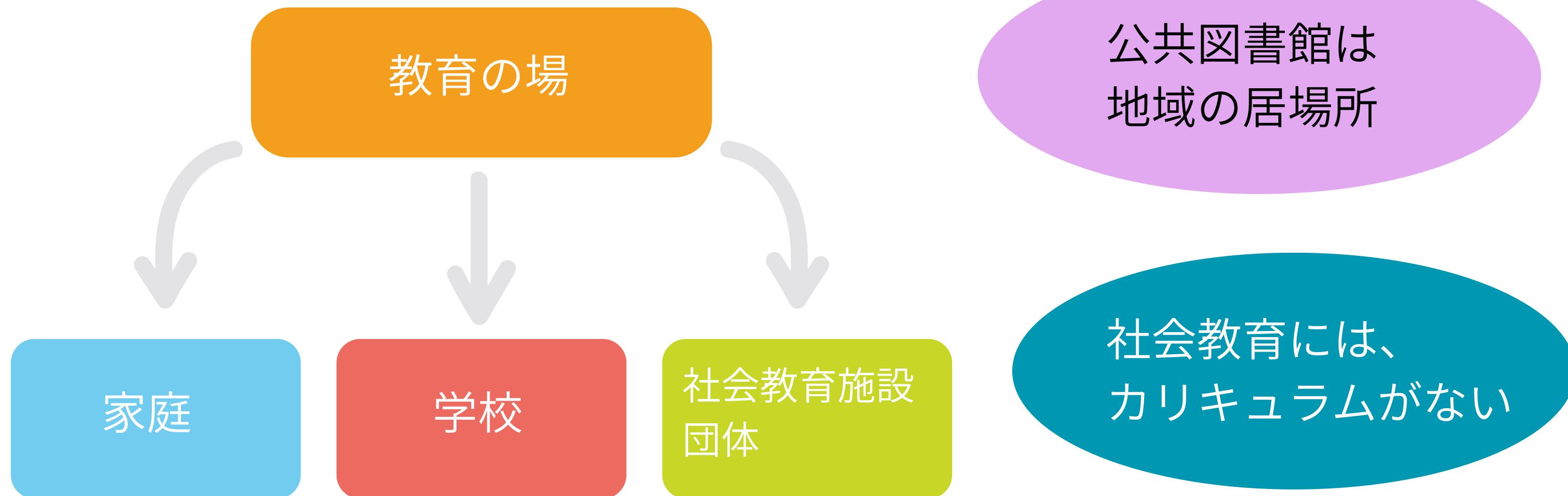


つながる図書館





読書は生涯学習の入口



学校と社会教育施設の連携が深まることで子ども達の多様な居場所ができる

学校図書館も図書館である



図書館は成長する有機体である（ランガナタン 図書館学の五原則より）

埼玉県の高校図書館司書が
選んだイチオシ本

埼玉県高校図書館フェスティバル



15年め！

2024年は、約100の
公共図書館、50書店
がフェア参加



高校司書・書店・公共図書館

イチオシ本2024は、イチオシ本YouTubeにて発表いたします。
詳細につきましては、後日お知らせいたします。

ぜひ、チャンネル登録をしてお待ちください。



埼玉県高校図書館フェスティバル
チャンネルはコチラなのだ



<https://www.shelf2011.net>

全国推し本マップ2025

「推し本」とは、年に1度、県または地域の学校図書館職員の投票によって「生徒におすすめしたい本」を選び、その結果をブックランクインにして広く公表する取り組みです。

利用者の人気ランキングではなく、学校図書館職員の投票で選ばれる点や、学校図書館だけでなく、著者や出版社、地域の書店や公共図書館等と積極的にコラボしている点などが特徴です。

あなたの
住んでいる地域でも
「推し本」の取り組みを
はじめてみませんか?
お気軽にご相談ください



みちねこ

岐阜



イチオシ！ぎふと本
～岐阜の学校図書館員が選んだ本～

京都



We love books
中高生におすすめする司書のイチオシ本

岡山の高校図書館プレゼント
でーれーBOOKS



岡山

宮城

みやぎ★三ツ星本★グランプリ



埼玉

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本



千葉

千葉県の高校図書館職員が選ぶ
生徒に読んでほしいイチ推し本



神奈川学校図書館職員大賞 (KO本大賞)



神奈川

和歌山県の高校司書が選んだわかイチ本



和歌山

本と人をつなぐ
オフィスみちねこ



情報を見極める力を養う

学校

学校図書館

思考力を養う

公共図書館
社会教育施設

読む力を育む

ボランティア

**本が生きるチカラを
くれる**

書店

みんながつながって、
子どもと本のかけはしに

ご清聴ありがとうございました！



メルマガが出しています。
noteのフォローも
よろしくお願ひします。

